

3Rを推進しましょう。

大量生産・大量消費は、私たちの生活を豊かにする一方で、大量廃棄を生み出してきました。かつて、大量のごみは、豊かさを象徴していました。

しかし、大量のごみは、焼却によるダイオキシンの発生や不法投棄、さらには地球温暖化問題など環境問題を引き起こし、様々な対策を施しても解決する見通しはありません。このままでは、持続可能な発展は望めなくなっています。

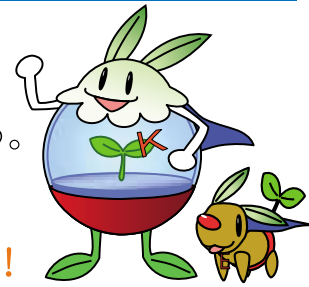
今こそ、“ごみ”に対する意識を変えなければなりません。決して難しいことではないのです。限りある資源を出来る限り循環させてこそ、持続可能な社会“循環型社会”が始まります。

3Rとは？

“3R”とは、形成すべき循環型社会の姿を明確に提示するため、循環型社会形成推進基本法の中で示されている手法を象徴化した表現です。

Reduce (リデュース：廃棄物の発生抑制) **ごみを減らそう！**

必要以上の印刷やコピーはしないようにしましょう。
紙コップなどは使わず、マイカップ運動を推進しましょう。
社内文書は一箇所で管理し、個人用はつくらないようにしましょう。
簡易包装を推進しましょう。



Reuse (リユース：再使用)

繰り返し使おう！

封筒や段ボールは何度も利用しましょう。
使用済み用紙の裏面利用を推進しましょう。
リース品などを活用しましょう。
再生品やエコ商品を進んで購入し、最後まで使い切りましょう。

Recycle (リサイクル：再資源化)

再び資源として再利用しよう！

資源物の分別を徹底しましょう。
びん・缶・ペットボトルは、軽くゆすぎましょう。
(⇒ 常にリサイクルの価値を高めることを意識しましょう。)
オフィス用紙は再生紙を利用しましょう。

その他の取り組み

表彰制度や提案制度を設けて社内の3R意識を高めましょう。
ごみの量や種類など、社内の実情を把握しましょう。
ごみの減量・リサイクルを指導・管理する責任者を決めましょう。